



連携室通信

発行：公益財団法人 老年病研究所附属病院

ISO9001認証取得

日本医療機能評価機構認定病院

老年病研究所附属病院の理念

1. 地域の人々の健康を守るための、研究と実践
2. 疾病の予防と治療に役立つ看護、介護の推進
3. 高齢社会における保健・医療・福祉のネットワーク作り

老年病研究所附属病院の基本方針

1. 最新医療の研究と実践
2. 質の高い安全な医療の提供
3. 多職種によるチーム医療の実践
4. 地域医療および社会への貢献
5. 職員教育の充実
6. 病院経営の安定

未破裂脳動脈瘤が見つかったら

脳神経外科

副院長 内藤 功



近年、多くの方が気軽にMRIを受けるようになり、未破裂脳動脈瘤が見つかる患者さんが増えています。見つかってしまうと、破裂したら怖いけど、治療するのも怖いと不安になってしまいます。破裂するとくも膜下出血を起こしますが、亡くなる方、後遺症を残す方、完全回復する方の割合はそれぞれ1/3程度で、予後を左右する最も大きな因子はくも膜下出血の程度です。ですが、未破裂脳動脈瘤の年間破裂率は約1%程度で決して高くはありませんので、そんなにびくびくする必要はありません。破裂しやすい動脈瘤の特徴は、大きさが5-7mm以上、ブレブ（娘動脈瘤）があるもの、ネックが小さいものなどです。ですから、これに当てはまるような場合は治療を検討することになりますが、患者さんの不安が強い場合は小さくても治療することがあります。

治療方法

開頭クリッピングとコイル塞栓術です。動脈瘤の部位、形状などを考慮し治療法を選択します。開頭クリッピングは頭を切らないと治療ができませんが、安全性の高い治療で再発は稀です。しかし、動脈瘤が脳の深部にあると手術リスクが高くなります。一方、コイル塞栓術は頭を切らずに治療ができる利点がありますが、動脈瘤のネックが大きくなるとコイルが脳血管に逸脱し閉塞すると脳梗塞を生じます。これを予防するためにバルーンやステントを併用する場合がありますが、一定期間血栓予防の薬を服用する必要があります。また、治療中に動脈瘤が破裂すると止血が困難です。

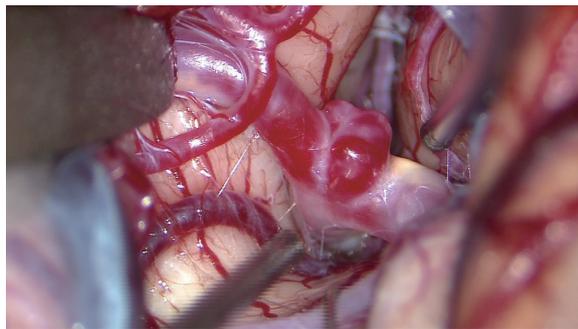
治療方針

当院は、未破裂脳動脈瘤の紹介患者さんが多く、手術数は県内一番で経験も豊富です。各々の動脈瘤について、破裂リスクと破裂した場合の予後、治療法と手術リスクを説明いたしますが、治療するかどうかは最終的に患者さん自身に決めていただくこととなります。未破裂脳動脈瘤が見つかったら、まず、納得できるまで話を聞いてみるのが大切です。

次ページへ

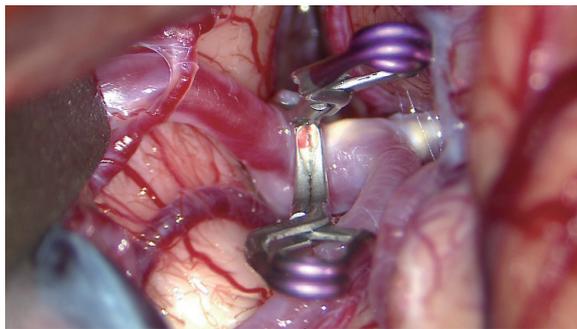
中大脳動脈瘤クリッピング術

3mm程度の小さな動脈瘤ですが、壁は薄く真っ赤で今にも破裂しそうです。



手術前

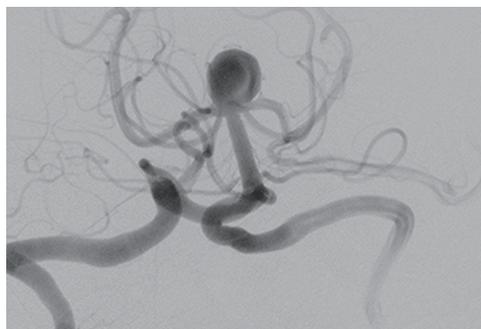
2個のクリップで無事に遮断できました。



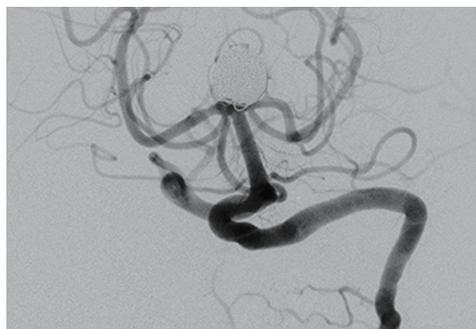
手術後

脳底動脈瘤コイル塞栓術

脳深部の動脈瘤でコイル塞栓術を行いました。コイルの逸脱を防ぐためバルーンを使用しました。



手術前



手術後

新任医師紹介

神経内科
かわらばやし たけし
瓦林 毅



5月から主に西棟の回復期病棟に勤務しております瓦林毅と申します。昭和58年に群馬大学を卒業し、神経内科学教室に入局しました。昭和62年に1年間当院にお世話になりました。当時は病院も小さかったのですが、病室に入りきれないほどの患者さんが入院し、脳血管障害に対する急性期診療の貴重な研修をさせていただ

きました。その後東海林先生と共に岡山大学、弘前大学に勤務し、17年ぶりに群馬に戻って来ました。

その間、認知症、特にアルツハイマー病の診断、治療の研究をずっと行ってきました。先月講演させていただいたアルツハイマー病ワクチンもそのひとつです。このワクチンはなんとか臨床に使えるようにしたいと思います。

西棟回復期病棟では酒井先生の指導を受けて、脳血管障害の回復期の患者さんを担当しております。また、認知症研究センターの所属になりましたので、認知症患者さんの診断、治療にも尽くして行きたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

ホームチェックと住宅改修・福祉用具選定について

リハビリテーション部 作業療法士 須藤 美里

ホームチェックの必要性

入院中の患者さんが、住み慣れた場で再び生活したいということは誰しもが感じると思います。しかし、病気やけがによって障害を呈した方が住み慣れた場に帰ることは、入院前に比べ転倒等のリスクを伴うため環境面に配慮を行う必要があります。

安全な生活が送れるように、またご家族の身体的・心理的負担の軽減を図れるように退院後の生活を見据えた支援や、その人らしい生活のサポートのひとつとして当院では必要に応じてホームチェックを行っています。

当院でのホームチェック

退院時期やご自宅への退院が決まると理学療法士や作業療法士がご自宅へ訪問し、ホームチェックを行います。

具体的には、住環境を把握し、段差解消やスロープ、手すりの設置などの住宅改修の提案、シャワーチェア等の福祉用具の選定、患者さんの能力をふまえて移動方法の検討や家具の配置・生活動線の確認、サービスやケアに関わるとご家族やスタッフへの介助方法の指導などを行っています。また、私たちリハビリスタッフは退

院後の生活環境を知ることで、その後のリハビリテーションプランに反映させ、サポートを行います。

ホームチェック時には、その後の在宅生活を支援するケアマネジャーや必要に応じて福祉用具業者に同席いただき、その場で情報共有や検討ができ、スムーズな引継ぎが行えています。

安心、安全な自宅生活に向けて

患者さんが地域へ戻る際、当院ではケアマネジャーや今後関わるスタッフに円滑に引き継げるように、サービス担当者会議に出席したり、申し送りやホームチェックの報告書を作成し、情報共有を行っています。

ご自宅への退院を考え、居住環境に不安がある方はお気軽にお声かけ下さい。



ホームチェックの様子



7月の食事会のお知らせ



『食事で脳の健康を保ちましょう』 ～認知症予防のあるマインド食をご紹介します～



花名:ツルバキア
花言葉:落ち着きある魅力
撮影者:松原信子様

- 日時：令和元年7月5日(金)
12:00～講演会
12:30～食事会
- 場所：新館6階 講堂

- ・ さっぱりもち麦ご飯 ・ 味噌汁
- ・ 豆腐とツナの照り焼き
- ・ 胡瓜と長芋のもずく和え ・ ぶどうゼリー

熱量 408kcal 蛋白質 18.6g 食物繊維 3.7g 塩分 2.5g

参加ご希望の方は病院受付にお申し込みください。会費 500 円です。

担当 管理栄養士 高橋

受付時間

午前8:30~11:30まで / 午後1:30~4:00まで (土曜の受付は11:00まで)

※急患は24時間受付けております
※禁煙外来は初診のみで再診は内科外来で行います

外来診療表

第2・第4土曜日休診
※歯科口腔外科は第2・4土曜も診察しています

令和元年5月16日

診療科目	曜日	月	火	水	木	金	土
	時間帯						
内科	午前	高玉院長・秋山	高玉院長 小池(9:00~)・秋山	高玉院長・勝山	高玉院長 勝山・秋山	高玉院長・勝山	高玉院長(10:30まで) 勝山
	午後		小池(14:00まで)	秋山		秋山	
禁煙外来	午前			勝山(完全予約制)	勝山(完全予約制)	勝山(完全予約制)	
神経内科	午前	岡本・東海林・菊池	岡本・東海林・甘利	岡本・東海林・甘利	岡本・酒井	岡本・池田	菊池
	午後	清水	清水	山内(15:30まで)	甘利(完全予約制14:00まで) 瓦林・漆田	池田(15:30まで)	
物忘れ外来(神経内科)	午後			山口(完全予約制)			
循環器内科	午前		天野	天野	天野	天野	天野
循環器内科(不整脈外来)	午前						田村
脳神経外科	午前	1診:内藤 2診:岩井	高玉真	1診:内藤 2診:高玉真	1診:内藤 2診:岩井	1診:宮本 2診:内藤	1診:高玉真 2診:宮本
	午後		岩井(14:30まで)	岩井(14:30まで)			
整形外科	午前	佐藤(圭)・加藤	島田	佐藤(圭)・館野	佐藤(圭)(10:30まで)・加藤	館野・島田	佐藤(圭)(第1)・島田(第1.5) 館野(第3.5)・加藤(第3)
	午後	加藤		館野		島田	
眼科	午前	高玉篤	高玉篤	高玉篤	高玉篤	高玉篤・遠藤	高玉篤
	午後		高玉篤	高玉篤(隔週)	高玉篤		
皮膚科	午前	渋沢	渋沢			渋沢	
	午後			渋沢			
泌尿器外来	午前	矢嶋		一ノ瀬		黒川	
	午後	矢嶋					
漢方外来(内科)	午前				古川		
高血圧外来	午前	中村哲也	中村哲也				
糖尿病外来	午前		中村保子				中村保子
	午後					中村保子	
内視鏡	午前			山田(第2,4)(胃)		乾(胃)	
	午後			山田(第2,4)(大腸)		乾(大腸)	
麻酔科	午前	増田		増田(10:30まで)		佐藤美恵	
心療内科	午前		雪竹				
	午後		雪竹				
睡眠時無呼吸外来	午前					山口(第2,4) (完全予約制9:00~11:30)	
リハビリテーション科	午後				神宮		
腎臓リウマチ内科	午後		諏訪(第1)・渡辺(第3)				
歯科・口腔外科	午前	富士・戸谷	富士・戸谷	富士・戸谷	富士・戸谷・伊達	富士・戸谷	富士(第1,3,5) 戸谷(第2,4)
	午後	富士・戸谷	茂木・富士・戸谷		富士・戸谷・伊達	富士	

公益財団法人 老年病研究所附属病院

〒371-0847 群馬県前橋市大友町3-26-8 TEL 027-253-3311 (代表) FAX 027-252-7575 (代表)
E-mail: info@ronenbyo.or.jp ホームページアドレス http://www.ronenbyo.or.jp/

地域医療福祉連携室・相談室

TEL 027-253-4108 FAX 027-253-4135